



9月30日(一般質問(要旨))



やました さとし 議員  
山下 智之 議員  
自民刷新会議 廿日市市

発達障害児等に対する療育

県内には発達障害児に対する療育に力を入れている専門医が少なく、初診までに数カ月待たなければならぬ。特に県東部地域には専門機関が少なく、発達障害児をはじめとする障害児の療育について、県としてどのように対応するのかが伺う。

障害児の療育については、県内三万所の県立重症心身障害児施設における医療的ケアなどを引き続き推進する。県東部地域における発達障害児への対応については、福山若草園のあり方も含め、公的な専門医療機関の必要性や療育体制のあり方などについて総合的な検討を開始した。

**用語解説** **発達障害**  
発達障害者支援法(平成16年12月制定)においては、自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害、言語の障害、協調運動の障害など、症状が通常低年齢において発現する行動や情緒の障害とされている。

豪雨災害防止対策

近年、全国各地で集中豪雨が甚大な人的・物的被害をもたらしている。住民に対する警報等の適切な伝達や要援護者の確実な避難誘導体制の整備に向けて、県としてどのように取り組むのかが伺う。

市町において適切なタイミングで避難勧告等を行うよう、判断基準や伝達手段等を明確にしたマニュアルの作成を支援するとともに、災害時要援護者の個人としての誘導方法を記載した、避難支援プランの作成を働きかけている。また、市町と連携した住民参加型の訓練を実施することにより、県民の安全の確保に努める。



かわい あんり 議員  
河井 案里 議員  
自民 広島市安佐南区

本県財政運営

知事の任期中に、県債残高は二兆円を超え、昨年度の経常収支比率九十四・四という数字を作り出し、今後も、厳しい予算制約の中で県政運営を行わなければならない。財政上のガバナンスという観点から、ここまで借金を増やすことになったのは、行政・政治それぞれの意思決定のあり方のどこに原因があったと考えるのかが伺う。

就任当時、大規模な経済対策やアジア大会等のインフラ整備のために多額の県債を発行せざるを得なかった。その後は、費用対効果を検証した上で、多面的な検討を行い、県議会とも議論を重ねて政策判断を行ってきた。

**用語解説** **経常収支比率**  
県税や地方交付税などの経常的な収入に対する経常的な経費(人件費、扶助費など)の割合。値が低いほど財政にゆとりがあり、柔軟な財政運営が可能になる。

年度	16	17	18	19	20
経常収支比率(%)	92.8	89.4	91.5	98.3	93.7

県職員採用試験

混迷の時代においては、マニュアル人間ではなく、多種多様な型破りな人材こそ、本県の頭脳として求められる。このため県職員採用試験においては、論文を主体とし、応用力と創造力を見る新しいタイプの試験を考案すべきと考えるが、改善の必要性について伺う。

有為な人材を確保するには、採用試験での人物評価は非常に重要と考える。採用試験のあり方について、絶えず見直し、研究を行い、複雑・高度化する行政課題に果敢に取り組み、資質と使命感を有する人材確保に努める。



やすい ひろのり 議員  
安井 裕典 議員  
自民党広志会 廿日市市

過疎対策

過疎地域の現状を考えると、今後はハード整備に加え、生活交通の確保や冬季生活の支援など、生活者の視点に立つたきめ細やかな対応が必要である。そのためにも、本年度末に期限切れとなる「過疎地域自立促進特別措置法」に代わる新たな過疎法が早期に示される必要があるが、法制定に向けた取り組みについて伺う。

本県では、新たな過疎対策」を最重点課題と位置づけ、新法制定の議論に先駆けて取り組んでいる。着実な事業実施のためには、法的な裏づけが不可欠と考えるおり、地方六団体等とも連携し、本県の取り組みを示しながら訴えていく。

**用語解説** **地方六団体**  
首長の連合組織(全国知事会・全国市長会・全国町村会)と地方議会議員の連合組織(全国都道府県議会議員連会・全国市議会議員連会・全国町村議会議員連会)の総称。共通課題への対応や政策提言などを行っている。

新型インフルエンザへの対応

季節性インフルエンザの流行期の到来に合わせて、新型インフルエンザの第二のピークも想定した万全の対策が必要である。高校生の就職試験や大学入試に影響が生じないための、予防対策や対応について伺う。

感染拡大を防止するため、県立学校等に保健指導や健康観察を徹底するよう指導し、学級閉鎖等の基準や手順を整理して通知した。集団発生時にも就職試験や大学入試の受験の機会が確保できるように、関係方面に要望するべく、万全を期していく。

10月1日(一般質問(要旨))



しもはら やすみつ 議員  
下原 康充 議員  
自民 東広島市

教育の中立性確保

公教育の中立性が脅かされれば、過去の荒廃した本県教育が復古するのではないかと危惧する。本県のさらなる教育改革を推進する上で、最も大きな命題として掲げてきた教育の中立性の確保についてどのように認識しているのかが伺う。

文部省の是正指導後、教育の中立性を堅持し、県民に信頼される公教育の確立に努めてきた結果、適正な校務運営や教育内容面での成果など、公教育の基盤が整ってきた。今後とも教育の中立性を確保し、是正指導による取組を決して後退させることなく、教育改革の一層の推進を図り、県民参加による新たな、教育県ひろしまの創造に向け全力で取り組む。

**用語解説** **農業構造改革**  
施策を集落法人や一定規模以上の農家などの担い手に集中することにより、小規模零細な兼業農家が大部分を占める現状を改善し、産業として自立できる農業を実現しようとする取り組み。

新政権の農政に対する見解と対応

新政権の掲げる農政は、本県の農業にどのような影響を与えるか、また、国の農政の転換を受けて、本県が進めてきた農業構造改革路線を見直す可能性があるのか、所見を伺う。

新政権の農業政策については詳細が不明であり、本県農業への影響は、今後国の行う具体的な制度設計を見極めた上で判断する必要がある。県としては引き続き、長期的な視点に立ちながら農業の構造改革を着実に進め、本県の農業・農村の活性化に取り組む。



ひがし やすゆき 議員  
東 保幸 議員  
民主進歩会 広島市安佐北区

教育委員会審議のあり方

八月の教育委員会会議で、大和高校と白木高校の募集停止が決定されたが、教育委員会会議では、どのような判断に基づいて決定されたのか。また、教育委員は現地に赴いて地域や保護者の意見を聞かれたのか。

入学者状況等を総合的に検討し、一定規模の集団の中で切磋琢磨できる、よりよい教育環境を整える必要があるとの考えから、募集停止を決定した。今回、教育委員として学校を訪問したことはないが、校長を通じてPTA等の関係者の状況を聞くなど、慎重に審議を行った。

**用語解説** **LED**  
電気を通すと光を放つ半導体(発光ダイオード)のこと。消費電力が小さく、寿命が長いことから、白熱電球や蛍光灯に代わるエコ照明として注目されている。

LED関連産業への支援

LED照明の世界市場規模は七兆円ともいわれている。地域経済の活性化、さらには雇用創出という視点に立ち、本県として積極的にLED関連産業の誘致や支援に取り組むべきであると考え、今後の対策について伺う。

LED関連分野は、今後、大きなビジネスチャンスのある分野であり、企業群が成長するためには、県内産業の一層の技術の高度化が不可欠である。今後とも、技術開発を支援するとともに、LEDなど環境関連産業の集積を促進し、地球温暖化対策の推進と県経済の持続的発展を図ってきたい。



まどころ さとし 議員  
間所 了 議員  
自民刷新会議 広島市東区

広島空港の利用促進対策と国際航空路線の誘致

グローバルゲートウェイとしての広島空港のさらなる活性化が求められるが、どのような利用促進策が必要と考えるのか。また、岡山空港と競合しない国際航空路線の共同誘致を行う考えはないか。

東京線や国際航空路線の拡充に重点的に取り組むとともに、アクセスの強化などを図り、拠点性を一層高める必要がある。他県との連携は、集客圏の拡大を図る上での方策の一つとして検討する。

**用語解説** **グローバルゲートウェイ**  
国際的な規模と機能を有し、世界各国と多方面・多頻度の航空路線や航路で結ばれた、競争力の高空港や航空港のこと。

県政十六年の感想と県民へのメッセージ

藤田県政の十六年を総括した感想と、今後の県政について県民へのメッセージを伺う。

県民の皆様が、住んでよからと心から思え、内外の人々や企業から魅力ある県として選ばれ、県づくりに向けて、全力で県政運営に取り組んだ。教育改革の推進、パランスの取れた産業構造への転換、簡素で効率的な組織体制等の構築、全国に先駆けて推進した地方分権改革などに重点的に取り組む全体として、元氣な広島県への道筋をつけることができたと考えている。新しい知事のもと、議員各位、県職員、県民の皆様が力を合わせて、広島県の発展に、尽力いただきたい。